ものがたり

第二百七十一話

長岡市土合3-4-3
有 前田屋
(0258)33-3793
令和3年3月発行

みなさんこんにちは。
まだ少し雪が残っていますが春ですね。裏の神社の桜もだいぶつぼみがふくらんで来ました。四月上旬には咲きそうとの事。しかし今年はコロナの影響で花見を控えるみたいに聞こえていますけど大勢が集まって、密になっての大宴会は気を付けてという意味ですので、こんな時だから、ご家族でのんびりと花見散歩などいかがですか?。日本人が桜を愛でなくなったら、終わりです……。

「なに〜?!この石鹸!! 気持ち悪う〜〜。」

と家に手伝いに来る娘の声。

「ん?! どうしたでがんや……」

と洗面所に駆けつけると

「何?これ!!」て指を差しけげんな顔。「あー石鹸だねっか」

「だねっかじゃないって。気持ち悪い!」

実は毎日家族全員でかなり手洗いをするので石鹸が減ります。手洗いの石鹸置には小さくなった石鹸がありなかなか手が洗いにくく、泡立ちません。

「あっげ、五百円玉みてぇな石鹸じゃ、洗いにくくてしょうがねぇねっか、だあすけ新しい石鹸にしてやったでいや〜」

「だあすけじゃないって。新しい石鹸だけでいいじゃない!! なにも小ちゃい石鹸を新しい石鹸にくっつけなくても……!」

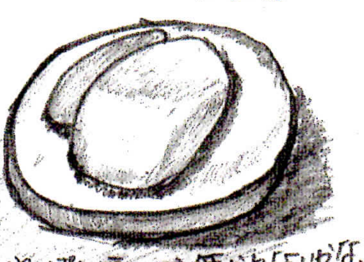
「それだーてもどうやるとくっつけられるのよ!!・まったく!!・」

「良く乾かしたら、接着面を……」「もういいってば!!」

食品ロスやゴミの問題など避けて通れない誰もが直接関わる事なのに、自分の前を通り過ぎると、人事や人任せになってしまっているように思います。必要に応じた食品の備蓄や保存食の活用。適量の調理。やはり「もったいない……」ではないでしょうか。「お父さんが子供のころは……」

「もうわかったって!!」と娘。

―― 今 ――



新しい石鹸にひっついたうすっぺらな二枚の石鹸。

やっぱり私しか使わないかな…

阿賀町 麒麟山リニューアル発売中

阿賀町の麒麟山酒造が大きくリニューアルしました。かねてから、麒麟山辛口シリーズとして、限定流通商品を取扱い、超辛口など大ヒット商品を産み出してきました。しかしながら、新潟県内の激しい競争の中で高付加価値商品や高級酒がどんどん増え、気が付くと蔵元の自己満足の商品ばかりとなり、さらに一般家庭に酒の姿が無いような事態となってしまったように思います。

そこで、麒麟山酒造は原点に帰り、地元阿賀の地で、阿賀の米で伝統の技で醸す上等な酒をリーズナブルにお届けしようと商品もぐっとしぼって、品質本位の自信作を揃えました。

久保田スパークリング

四月十九日発売

500ml 1372円(込)

久保田シリーズの新らたな商品です。きめ細やかな泡立ちとマスカットのような爽やかな香りで、軽やかな爽快感を楽しめる米から生まれたスパークリングライスワイン。甘酸っぱいキリッとした味わい。久保田ならではのコクとシャープな酸味が特徴。四月十九日発売

風土が人と酒を育み
酒は人をつなぐ
有 前田屋